

自己改革工程表の進捗について（令和6年度）

J Aみやぎ仙南が自己改革実践サイクルを通して令和6年度中に取り組んだ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に関する活動は、以下のとおりです。

米フレコン出荷の拡大 を通じたコスト低減

令和6年度目標	令和6年度実績
9,800 t	8,554 t

コスト低減効果

高温による収量低下や主食用米の取引価格高騰から、集荷競争が激化した結果、米集荷数量が契約対比で約76%となり、フレコン出荷数量は8,554tに留まりました。米フレコン出荷拡大を通じたコスト低減では、30kgあたり121円のコスト低減効果に繋がりました。



みやぎ仙南の 仙台牛ブランドの確立

令和6年度目標	令和6年度実績
73%	75%

売上増加効果

適正出荷や事故防止を呼びかけ優良牛の出荷に努めました。J A管内の仙台牛ブランドの確立を目指した共進会や勉強会などを通じて、消費者ニーズにあった良質牛生産を展開してまいりました。肉質向上は、生産者の意欲向上にも繋がりが、前年度を上回る仙台牛格付率を確保することが出来ました。上記の取り組みの結果、枝肉1Kgあたり397円の売上増加効果に繋がりました。



生産販売マッチングによる 園芸作物生産面積の拡大

令和6年度目標	令和6年度実績
245 ha	226.3 ha

売上増加効果

全農の生産販売マッチングを活用し、新たに新規生産者及び主要品目の作付増加に取り組みました。そら豆、つるむらさき、ブロッコリーなど、主要11品目を中心に面積拡大に努めました。この結果、10aあたり567千円の売上増加効果に繋がりました。



大型規格農薬の普及拡大 によるコスト低減（水田除草剤）

令和6年度目標	令和6年度実績
2,950 ha	2,590 ha

コスト低減効果

春資材予約注文書に農薬メーカー直送品（超大型規格）を含む大型規格農薬の掲載とともに、E-SHOP（Web）の予約注文キャンペーンを開催し、普及拡大に努めました。圃場基盤整備等の休耕により面積は微増に留まりましたが、大型規格農薬のコスト低減効果として、水田除草剤で10aあたり490円の低減効果に繋がりました。



農業振興の応援団の拡大



2,706人
地域の活性化
各種イベント参加人数



7地区支店協同活動、女性大学、女性部・青年部食農教育活動を通じて、J A事業の認知・共感していただくことで「農業振興の応援団」の拡大に繋がりました。

経営基盤の確立・強化

3件
不稼働資産の流動化

計画に基づき土地・建物の処分を実施し、施設に関する管理費等の圧縮を行いました。

対話・意思反映

9,376件
正組合員への
個別訪問件数

92.2%
准組合員加入時
アンケート

52人
准組合員モニター
（意見提出人数）

上記以外にも各種アンケートや組合員組織等での協議内容、各事業での訪問活動の際に皆様よりいただいたご意見要望等を事業運営に反映させていただいております。